

地域の友

ふじもり

第55号

発行：台町市民センター住民協議会広報部
八王子市台町3-20-1
八王子市台町市民センター
電話 042-627-3808
(公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団

新年をむかえて
台町市民センター
館長 清水 努

センターまつりを振り返って
台町市民センター
総務部長 有川勝彦

センターまつり各部の担当
台町市民センター
広報部長 渡辺豊久

皆様と一緒に令和七年の正月を迎えられ、心よりお喜び申し上げます。日頃より台町市民センター住民協議会にご支援ご協力を頂き、ありがとうございます。

例年の如くインフルエンザの流行が心配になってきましたが、皆さま方におかれましてはお元氣にお過ごしですか。令和六年十月二十六日、二十七日と台町市民センターまつりが盛大に行われ無事に終了しました。総務部の役割は展示品設置（柱、パネル、机等）準備から、展示品募集、出展作品配置図作成（中村雅子様のご協力）各部屋の机、パネル配置図作成（小松真由美様のご協力）台町三丁目から机借用運搬、センターまつり当日の展示品の見守り、終了時の撤収、最後の片付け担当させて頂きました。

一人の参加応募があり受け入れました。大学生は活気に満ち溢れ頼もしさを感じたのです。展示設置準備の人数も当初の予定人数を大幅に上回り、事前準備が予定通り出来ました。それには町会の方を誘い又息子さんを連れて下さった杉山副会長には紙上より厚くお礼申し上げます。正に協力者の出現は予期せぬ事でありとても心温まるものでした。お蔭さまで多勢の方のご協力を頂き私の心が落ち着きました。

台町市民センターには、本部を入れて六部がある。センターまつりは、行事を分け各部の担当が決まっている。演芸大会は、文化部が担当する。当部は、演芸大会に出席する人を募集することから始まる。募集要項の作成、その要項を各町会に配布し、演芸大会出席者を募集する。準備は、センターまつり開催の三カ月前から始まる。

昨年元旦に起きた石川県能登地方を襲った震度七の地震により悲惨な報道、電話は不通で知人とも連絡が取れず心配で正月気分は吹っ飛びました。早く元の生活に戻るようにと祈っています。今年こそは穏やかな正月であることを願っています。昨年の十月二十六日、二十七日のセンターまつりには、二十年振りに体育館にマットを敷いてみたら大変喜ばれました。体育館に入る時の履物替えは、大変だったと話してくれました。

まず困った事はお手伝いして下さる方が少なく展示品設置場所の準備が出来るか心配になりました。私は総務部員宅二十軒に電話、準備のお手伝いをお願いをし四名の方に協力頂きましたがまだ不足でしたので私は困りはて八王子市にある二校の大学へ電話、ボランティアの協力をお願いしましたが平日は難しいとの返事、諦めていた所、準備前日拓殖大学より連絡が入

出展いただきました都立特別支援学校、八王子言学校、第七小学校からの出展作品は、一生懸命に作られた出来栄えに感銘を受けました。多くの皆様からの出展作品には、一つ一つが丁寧に心を込めて作られた作品が各部屋に展示され、見に来てくださる方々に感動を与えたと思います。

今年、行事がぶつかったため、フラダンスは欠席になる。そして最も手間がかかるのが体育室の舞台作りですが、今年には体育部が手伝い、順調に出来ました。そして見学者のため、体育室に敷物を敷きました。演芸大会終了後、盆踊り大会を行いました。六十人以上集まり、浴衣姿、ハッピー姿が目立ち、盛り上がりつつ終了しました。（次ページに続く）

新型コロナウイルスも減少したので、以前のように健康維持増進の為にサークル活動を復活しませんか？舞踏ありコーラス楽器演奏と大人数の参加者の出場が、舞台の準備にも張りが出て見る人を楽しませ出場の場も緊張して終わった後の安堵感を復活しませんか。

総務部員の方々には、今後もある行事に積極的なご参加ご協力をお願いします。

最後に展示品準備にお力添え頂きました方々に、お忙しい中ご尽力賜りました事に深く感謝申し上げます。

展示関係は、総務部が担当する。総務部は作品の出品依頼を近くの学校から始める。

「七小」支援学校、「盲学校」に行き、生徒の作品の出品依頼をする。そして去年出品した人には、直接出品依頼状を送る。さらに回覧で各町会長には、作品の募集依頼をする。出品点数が増えてきてほぼコロナ前まで戻ってきました。

集まった作品を、台町市民センターの各会議室に作品毎に分け展示する。会議室に載るテーブルを使い、展示板を設置する。それに白布をかけ各展示室を作つてゆく。

広報部は屋外に子供体験コーナーを作り、スーパースポールすくい等の担当になる。

人気のある「包丁研ぎ」は本部が担当、研ぎ作業をする人は東京土建八王子支部四分科会の人達で、今年は百二十を超える包丁研ぎを行った。

台町市民センターの設置の担当は体育部で、センターまつり開催の「のぼり」を立てる。



ふれあいの街づくり
台町市民センター
センターまつり
福祉文化祭

令和6年10月
26日(土)~27日(日)

多くの来客を迎え今年も台町市民センターまつりが

行われ、多数の見学者が集まり、盛会になりました



初宿市長来館



業務員さんが三人入り、台町センターはますます来館数が増えていきます。





フリーマーケット



桑都保育園



図書室工作



七小の生徒達の作品

空手道



展示コーナー

刃物研ぎ



子供体験コーナー

芸能大会



展示コーナー

盆踊り大会





民生児童委員について

八王子市第二地区 民生児童委員 中村雅子

みなさんは、民生児童委員のことをご存知でしょうか？

概ね各町内に一人以上の民生児童委員がいます。

民生児童委員制度の歴史は古く、大正6年に民生委員制度の源といわれる『岡山県済世顧問制度』が発足して以来、百年以上の歴史を重ねています。

現在 日本全国に23万人、東京都に1万人、八王子市では現在438人の民生児童委員や子供と子育て支援を専門に担当する主任児童委員が活躍しています。

民生児童委員(含 主任児童委員)は、民生委員法に基づき、町会・自治会長等の推薦を受け、審査を経て厚生労働大臣に委嘱された、非常勤特別職・無給の地方公務員です。

地域内に住まう顔の広いボランティア精神に溢れた方が推薦の上任命されています。

民生児童委員の仕事の幅は広く、担当地域の住民の方からの高齢者・障がい者・子育てなどに関する様々

な福祉関連の相談を受け、適切な福祉サービスの紹介をしたり、関係機関へ話を繋いだり、行政が行う調査に協力したり、高齢者宅へ訪問したり、小中学校と連携して児童生徒の健全な育成や安全を見守る活動に協力したり、地元の町会・防災会と連携し、災害時に迅速な救護活動ができるよう体制を整えたり、地元の高齢者同士の親交を深め外出する機会を促すサロン活動を主催したり、担当のお宅のポストから郵便物が溢れていないか、それとなく確認したり、他にも書き出したらキリがありませんが、様々な活動をしてい

ます。日々の活動の他、地区の定例会で他の民生児童委員や諸機関との情報の共有をし、各部会ごとに研修を受け見識を深め、より良い活動につながるよう努めています。

民生児童委員の一番の大仕事は、毎年春先に実施される『高齢者世帯実態調査』です。

八王子市では、75歳以上の単身世帯及び75歳以上の方のみで構成されている世帯を対象として実施しています。

調査の内容は、近親者などの連絡人の住所や電話番号等、住民票などでは把握しきれない情報です。

対象のお宅を訪問して聞き取り調査をするのですが、初めて調査対象になったお宅で民生児童委員の存在をご存知なかった方から、いきなり現れて個人情報を教えろと言う胡散臭い奴と思われることがあるのが悩みどころです。

この調査は、対象の方々と民生児童委員が触れ合う絶好の機会です。調査の内容は八王子市の地域福祉推進のための施策や平時の見守り活動や緊急時の迅速な対応に役立つものですので、皆様のご協力をお願いいたします。

今、民生児童委員はもとより高齢者を対象とした諸機関・団体が一番注力しているのが、高齢者が外出し集う機会を増やすことです。

コロナ禍で家に引きこもる生活を余儀なくされ、足腰はもろろん認知機能までも弱くなってしまっているのではないかと心配していました。

二地区の民生児童委員は、第4火曜日10時から まちはぐにて『サロンはっぴっぴー』と第2火曜日10時から台町市民センターにて『お元氣クラブ』を主催しています。

毎回、ゲーム・手芸・歌などの娯楽から講師をお招きしてお役立ち講座まで、バラエティーに富んだ企画を立てて楽しい時間を共有しています。参加者の皆様のお顔を拝見しお喋りすることが、私どもの活動の大きな励みともなっています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

お住まいの地域の民生児童委員が誰だかわからない場合は、市役所の福祉部福祉政策課へお問い合わせください。

民生児童委員には守秘義務が課せられているので、ご遠慮なく何なりとご相談ください。

また民生児童委員の活動についてより詳しくお知りになりたい方は、八王子市民生委員児童委員協議会のホームページをご覧ください。



民生児童委員の活動へのご理解ご協力をお願いいたします。